

デートDVって?

DVは大人だけでなく、大学生や高校生など、交際する者同士の間でも起きています。この交際相手からの暴力を「デートDV」といい、男性も女性も被害者になる可能性があります。

- なぐったり、けったり、髪の毛を引っ張ったりされる
- バカにされる
- 大声でどなられる
- 無視される
- ほかのひとと仲良くしていると責められる
- ほかのひととのつきあいを制限される
- メールの返事をすぐに返さないと怒られる
- メールをチェックされる
- 常に行動をチェックされる
- 性的行為を強要される



にチェック✓がついたら、相手との関係が対等ではなく、デートDVの可能性がります。

DVで悩んでいる方へ…

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは「親密な関係にあるパートナーからの暴力」のことをいいます。この問題は複雑で難解です。各機関に相談窓口が設置されています。ひとりで悩まずご相談ください。

埼玉県配偶者暴力相談支援センター

048-863-6060

埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)

048-600-3800

東松山警察署生活安全課

0493-25-0110

吉見町役場政策財政課

0493-54-5026

With Youさいたま

(埼玉県男女共同参画推進センター)の紹介

「With You さいたま」は、埼玉県の男女共同参画社会づくりの総合拠点施設として、様々な事業を実施しています。

開館時間
 月曜～土曜 9:30～21:00
 日曜・祝日 9:30～17:30
 (第3木曜・年末年始を除く)
 電話番号 048-601-3111

主な事業
With Youさいたま 悩み事電話相談
 電話番号 048-600-3800
 受付時間 月曜～土曜 10:00～20:30

埼玉県女性キャリアセンター 電話相談
 電話番号 048-601-1023
 受付時間 月曜～金曜 10:00～11:30
 12:30～16:30

編集後記

今回の講演で、まだ先入観をもって考えることがあると気づかされました。決めつけをしないように、意識をしながら推進委員さんと共に、男女共同参画について考えていきたいと思っています。

ご意見等ございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。よろしくお祈りします。(柴)

事務局 吉見町政策財政課政策調整係
 吉見町大字下細谷411番地
 電話：0493-54-5026
 FAX：0493-54-4200

企画・編集 吉見町男女共同参画推進委員会

平成29年度
 通巻
 第19号

ほほえみ



吉見町男女共同参画講演会

平成30年2月17日 フレサよしみ大ホール

特集

- ・吉見町男女共同参画講演会レポート
- ・男女共同参画社会について 推進委員からひとこと

～男女がお互いの権利を尊重し、その個性と能力を発揮することができる社会をめざして～

笑いでコミュニケーションづくり～女と男～

しょうふくてい がっこ
講師：笑福亭 学光

日時	平成30年2月17日(土)午後1時30分～午後3時40分
会場	吉見町民会館「フレサよしみ」大ホール
主催	吉見町
共催	吉見町教育委員会 吉見いちご学級
協力	吉見町男女共同参画推進委員会
協賛	川越・東松山人権啓発活動地域ネットワーク協議会 『人権尊重社会をめざす県民運動』協賛事業

平成30年2月17日(土)吉見町民会館「フレサよしみ」で、男女共同参画への理解を深めるため、講師に笑福亭学光氏を迎え講演会が開催されました。

当日は、腹話術も交えた講演が行われ、250人を超える方々にご来場いただきました。

講演は、「笑いでコミュニケーションづくり～女と男～」と題して、男女共同参画を実現するためには、相手を知ること、知らず知らずに相手のことを決めつけないことが重要だと、ご自身の経験の中で学んだ、様々なエピソードを交えて男女共同参画についてのお話をいただきました。

学光さんからの男女共同参画に関するクイズ等、客席を巧みに引き込む話を通じて、観客席の皆さんは楽しく男女共同参画について学んでいました。

笑いの絶えないあつという間の講演に、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

また、講演の前には「ワークライフバランス」をテーマにしたビデオを上映し、男女ともに仕事や家庭、地域での活動にバランスよく取り組めるような、職場や社会制度づくりの実現について研修しました。

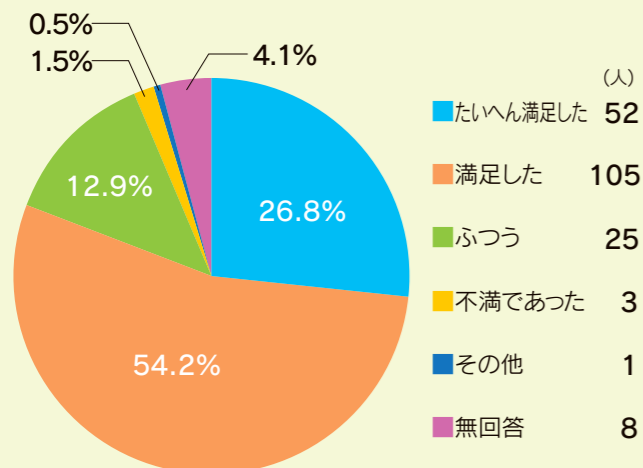
来場者の感想

- ・相手の立場になって考えることが、差別をしないことにつながるなどといったことが、わかりやすく伝わりました。
- ・人を見るとき、決めつけはよくないと思った。
- ・改めて思い込みで行動することが多いことに気づきました。いい勉強になりました。
- ・気づかされることが沢山ありました。
- ・とてもわかりやすく楽しい講演会でした。

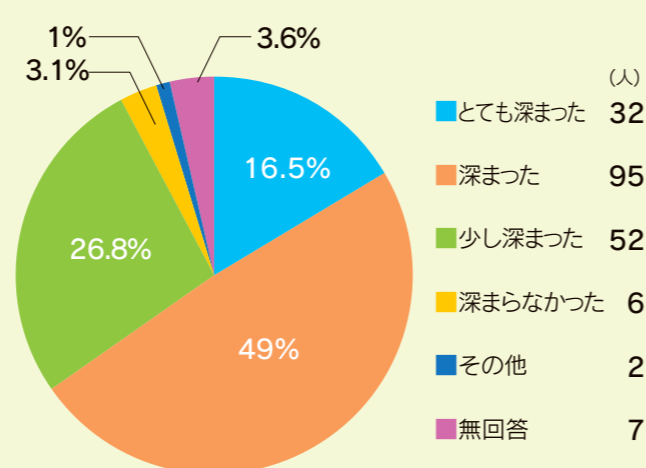
このほかにも皆さんから多くの感想をいただきました。

来場者のアンケートから

質問 講演会の満足度について



質問 関心や理解の深まりについて



今回のアンケートにおける、満足度については、「たいへん満足」「満足」と回答した割合が81%、関心や理解の深まりについて、「とても深まった」「深まった」「少し深まった」と回答した割合が92.3%と多くの方に男女共同参画について理解や関心が得られ、満足していただいたようです。

男女共同参画に関しては、今回の講演で学んだとおり、まず知ることが重要です。今回の講演会で、多くの人の理解や関心が得られたことで男女共同参画社会の実現に近づけたのではないかと思います。



男女共同参画社会について 推進委員からひとこと

日本社会は今、父親も育児に参加する“イクメン”を推奨し「女性の活躍」が叫ばれています。

あるショッピングモールで、夫婦と子ども二人の若い親子を見かけました。一人は3歳くらいの男の子と、もう一人は6歳くらいの女の子でした。親子四人で楽しそうに、買い物をしている様子を何気なく眺めていると、突然男の子が泣き始めました。欲しいものを親から駄目だと言われたようで、泣き止みません。お父さんお母さんの様子を見ていると、叱ることはせず優しく話しかけて、どちらに任せることもなく協力していました。その後、男の子は納得した様子で楽しく買い物をしていました。

これまでの社会では「男性は生活を支えるもの」「女性は家庭を守るもの」という考え方があり、そのため、男性は働くことが中心で家事や子育てをする余裕がありませんでした。一方女性は自分のやりたい仕事に就いても、結婚や子育てのために仕事を続けられず、社会で自分の力を発揮する機会が少なかったように思います。

これから、少子高齢化による人口減少へ向かってますます女性の活躍が期待されています。男女が良きパートナーとして、協力し合って仕事も家庭も大事にでき、男女が対等に生きる社会へ向かっていることを感じたある日の出来事でした。

男女共同参画推進委員 宮本 ヤエ子

